

# 水稲作況試験情報 【令和2年産 普通期栽培】

香川県農業試験場（7月29日現在）

7月以降、最高気温は平年に比べ低く推移した。7月2～3半旬の降水量は、平年に比べかなり多く、日照時間はかなり少なかった。田植40日後の生育については、草丈はコシヒカリで、過去5か年の平均値に比べてやや短かったが、ヒノヒカリ、おいでまいはやや長くなった。茎数はコシヒカリでやや少なく、ヒノヒカリ、おいでまいでやや多かった。主稈葉数は、いずれの品種も過去5か年の平均値に比べ少なかった。

## 1. 作況試験の方法

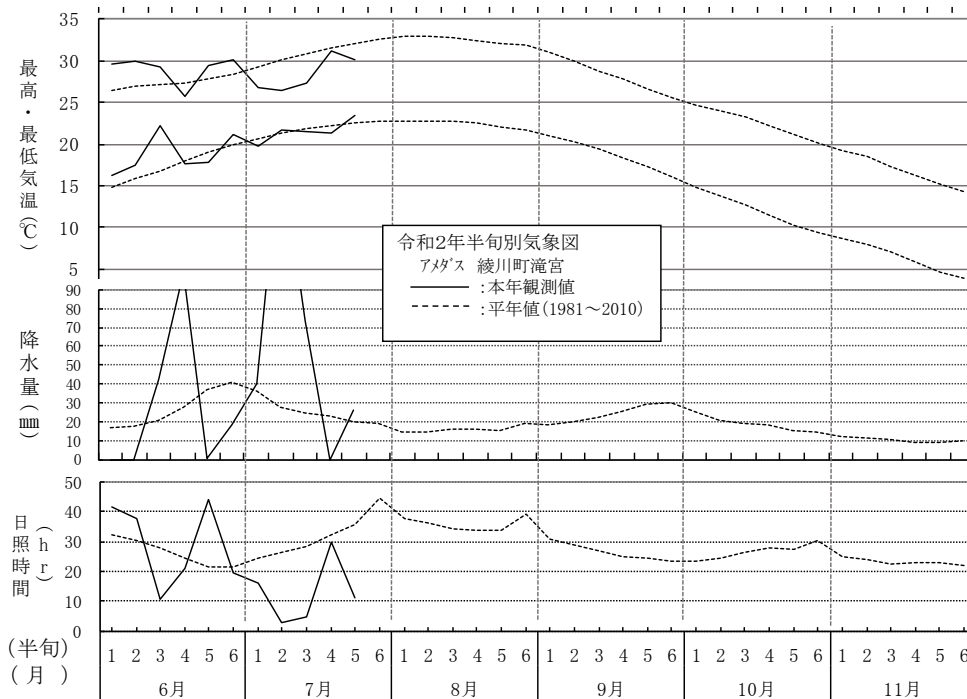
- 1) 供試品種：コシヒカリ、ヒノヒカリ、おいでまい
- 2) 播種期：5月29日 移植期：6月19日
- 3) 育苗方法：播種後、加温出芽させ、その後露地育苗した。
- 4) 栽植密度及び移植方法  
18.5株/m<sup>2</sup>（30cm×18cm）、1株4本程度、機械移植  
なお、生育調査株は移植直後1株4本に調整した。
- 5) 本田施肥（N成分kg/a）

	基肥	穂肥Ⅰ（予定）	穂肥Ⅱ（予定）
コシヒカリ	0.3	0.15	0.10
ヒノヒカリ	0.5	0.25	0.15
おいでまい	0.5	0.25	0.15

- 6) 使用肥料：化成肥料（N：P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>：K<sub>2</sub>O＝14：10：13%）
- 7) 1区面積及び区制 1区250m<sup>2</sup>（コシカ 500m<sup>2</sup>）、2反復

## 2. 具体的データ

令和2年産水稲 気象表（7月5半旬まで）



注) 7月2半旬の降水量は、167.5mmであった。

令和2年産 水稲作況試験生育調査結果

調査 (月/日)	供試品種 項目	コシヒカリ			ヒノヒカリ			おいでまい		
		本年	過去5か年 平均値	差(比)	本年	過去5か年 平均値	差(比)	本年	過去5か年 平均値	差(比)
移植時 (6/19)	草丈(cm)	17.5	13.0	4.5	14.2	11.3	2.9	12.6	11.6	1.0
	主稈葉数(枚)	2.9	2.5	0.4	2.8	2.7	0.1	3.0	2.7	0.3
田植20日後 (7/9)	草丈(cm)	35.9	37.6	▲ 1.7	30.6	30.9	▲ 0.3	32.7	33.2	▲ 0.5
	莖数(本/m <sup>2</sup> )	187	223	▲ 16 %	270	246	10 %	275	264	4 %
	主稈葉数(枚)	7.1	7.4	▲ 0.3	7.4	7.6	▲ 0.2	7.4	7.7	▲ 0.3
田植30日後 (7/19)	草丈(cm)	54.7	56.0	▲ 1.3	51.1	47.2	3.9	50.4	45.2	5.2
	莖数(本/m <sup>2</sup> )	348	504	▲ 31 %	438	535	▲ 18 %	512	617	▲ 17 %
	主稈葉数(枚)	9.1	9.8	▲ 0.7	9.3	9.9	▲ 0.6	9.3	10.2	▲ 0.9
田植40日後 (7/29)	草丈(cm)	72.8	74.3	▲ 1.5	68.7	67.4	1.3	67.4	64.2	3.2
	莖数(本/m <sup>2</sup> )	480	515	▲ 7 %	596	555	7 %	706	658	7 %
	主稈葉数(枚)	10.6	11.3	▲ 0.7	10.8	11.4	▲ 0.6	11.2	12.0	▲ 0.8
播種期(月/日)		5/29	5/30	▲ 1	5/29	5/30	▲ 1	5/29	5/30	▲ 1
移植期(月/日)		6/19	6/20	▲ 1	6/19	6/20	▲ 1	6/19	6/20	▲ 1
幼穂形成始期(月/日)		7/27	7/28	▲ 1						
出穂期(月/日)										
主稈止葉葉位(枚)										
穂数(本/m <sup>2</sup> )				%			%			%
稈長(cm)										
穂長(cm)										
成熟期(月/日)										

注1) コシヒカリ、ヒノヒカリ、おいでまいの差は過去5か年平均との比較で示した。

注2) 莖数・穂数については対比(増減%)で表し、これ以外の項目については対差(実数値)で表した。なお▲は少ない、短い、早いことを示す。